



自由経済システムと生活の供与、豊かさの創造

令和7年3月17日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

自由経済システムは経済の根幹である。生活は経済において満たされるのである。これは原始から今日まで変わらない普遍の原則である。

貨幣経済は、資本主義を与え、その所有が、富とともに、世界を行うのである。その資本が購買を経て、経済と社会の永続を行うのである。

そして経済活動の自由という自由経済システムがこれを維持するのである。これは社会活動の自由が自由経済システムにおいて保護されていることを理解できるものである。そして労働と報酬という現実が生活と社会を維持するのである。

また豊かさは経済の向上において与えられる現実であり、各国家における経済政策はこの豊かさの追求において存在するのである。これらは、生存の維持という絶対性がこれらすべての歴史における基盤として存在し、その肯定が、すべての現実を行うのである。

これらが社会サイクルを形成し、すべての現実の永続を与えているのである。これらは生存の維持と富への追求という社会における価値観の形成を与えているのである。

それにおいて留意されるのが、生存が保証され、目的の追求という現実を世界が合意するものである。それは経済の発展が生存を保証するとき、新しい社会システムの形成と新しい価値観における世界の形成が可能であるのである。

またすべての戦争は、生存要求という絶対性において存在する。そのため、このパラダイムシフトは、世界を変化させることができるのである。

また競争原理とい現実は、生存要求における争いなのである。これらは他方の視点からの経済への正しい考察なのである。

そのため新しい経済システムの構築は、これら理解と新しい哲学において可能とされるのである。